

この単元では、論理や常識を使って、文に書かれていない部分を推測し、読み解く問題 をあつかいます。書かれていることから、書かれていない部分をおしはかります。

B

- ① 温度がO℃以下になると水はこおり始める。
- ② 中の温度が3℃の冷ぞう庫に 入れたら、水はこおらなかった。

①の文をもとに考えると、実験してたしかめなくても、②の文は正しいということがわかります。それまでに書かれている内容が、あとの内容を読み解くヒントになります。

例 題 演 習

二酸化炭素は、動物が吸う空気に比べて、はく空気に多く含まれており、石灰 水を白くにごらせる性質がある。

この文をもとに考えたとき、次の文の内容は正しいか、正しくないか答えなさい。

石灰水を入れたビニールぶく3にはいた息を入れて、ふく3の口をしばって ふったとこ3. 石灰水は白くにごった。

新型音说 · 从 ②②)

上の文には、二酸化炭素のもつ、2つの性質が書かれています。

1つめは、吸う空気より、はく空気に多く含まれているということ。

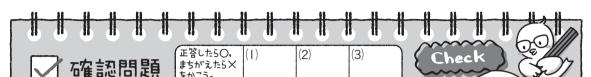
2つめは、石灰水を白くにごらせる、ということ。

これをもとに下の文を見ると、

- ① ビニールぶくろの中の空気は「はく空気」です。
- ② 二酸化炭素は、吸う空気に比べて、はく空気に多く含まれているのだから、「石灰水は白くにごった」といえます。

したがって、問題で提示された文は正しいといえます。

【答】 正しい。



(1)

ある量をもと(1にあたる)にして、比べる量がもとにする量のどれだけに あたるかを表した数を割合という。

3つの荷物 A, B, C があり, B の重さを I とすると, A の重さは I.I, C の重さは I.25 になる。このとき、A は C より軽い。

(正しい ・ 正しくない)

(2)

日本ではむかしから米の生産がさかんで、農産物の生産額全体にしめる米の割合は長年1位であったが、現在は畜産物、野菜よりも少なく、消費量も減っている。現在の小麦の生産量は1960年の約半分だが、消費量は増え、輸入量は1960年の約2倍である。

米の消費量が減った原因としては、食生活の変化も考えられる。

(正しい ・ 正しくない)

(3)

ある植物で、光合成によって葉にできたでんぷんは、水にとけるショ糖というものに変化して、夜の間に師管という管を通って植物のからだの各部に運ばれ、再びでんぷんなどになってたくわえられる。

ある植物のくきにたくわえられているでんぷんは、光合成によってできたでんぷん ではない。

(正しい ・ 正しくない)

オヤナナナナ





① 次の(I)~(3)で、それぞれ示された文をもとに考えたとき、あとに示されたア、イのうち正しいといえる文を選びなさい。

(1)

高知平野や宮崎平野では、冬でも暖かい気候とビニールハウスや温室を利用して、ピーマンやなすなどの野菜を栽培し、冬から春にかけて出荷する。渥美半島では、夜間も電気をつけて電照菊をつくり、ほかより時期をおくらせて出荷する。

- ア 全国各地で、気候に適した野菜づくりが行われている。
- イ 高知平野や宮崎平野、渥美半島では、ほかの地域の生産が少ない時期に出荷している。

(2)

A, B, C, Dの4人の身長を比べたところ、AはBより高く、Cより低い。 また、DはCより低く、Aより高い。

- ア A は高いほうから数えて2番目である。
- **イ** D は高いほうから数えて2番目である。

(3)

ある地域で生活している生物の数は、養分のもとになる食べられる生物が、 食べる生物よりも多い。このため、生物の量の関係は、最も大形の肉食動物を 頂点とし、植物を底辺とする、ピラミッドのような形で表せる。

- ア ある地域では、カエルに食べられるイナゴのほうが、カエルより数が多い。
- **イ** ある地域では、ヘビのほうが、ヘビに食べられるカエルより数が多い。

練習問題 B



点/50点

1 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。 15点

キャベツの生育に適した気温は 15℃~ 20℃である。東京中央卸売市場におけるキャベツの入荷先をみると、3月は愛知県・千葉県・神奈川県の順に入荷量が多く、9月は群馬県・岩手県・長野県の順に多い。

この文をもとに考えたとき、正しいといえる文を1つ選びなさい。

- ア 群馬県や岩手県、長野県は、夏でもすずしい地域がある。
- **イ** 大都市周辺でキャベツが生産されるのは、汚染された大気に強いからだ。
- **ウ** 輸送手段の発達によって、全国各地からキャベツが入荷されるようになった。
- **エ** 各地でキャベツが栽培されるようになり、競争がはげしくなった。

2 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。 (5点 (完答)

商品の定価は、仕入れ値に見こみの利益を加えてつけられる。定価を変更して売り値をつけたとき、見こみの利益と実際の利益の間に差ができる。

この文をもとに考えたとき、次の文の空欄にあてはまる数を答え、【 】の正しい語に \bigcirc をつけなさい。

5000 円で仕入れた商品に 1000 円の利益を見こんで定価をつけたが、売れなかったので 5400 円の売り値で売った。このときの、商品 I 個あたりの実際の利益は、見こみの利益に比べて 円【 多く・少なく 】 なる。

3 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。20点

ものは燃えるとき、酸素と結びついて熱と光を出す。燃えたあと、ものは、燃やす前とまったく別のものになる。たとえば、水素が燃えると、水素は酸素と結びついて水になり、炭素が燃えると、炭素は酸素と結びついて二酸化炭素になる。

この文をもとに考えたとき、正しいといえる文を選びなさい。

- ア びんの中でものを燃やすと、びんの中の酸素の割合は、燃える前より燃えたあとのほうが小さくなる。
- **イ** ものが燃えるときに出る光は、金属を燃やすときにのみ出る。